

心豊かな暮らし

縁

en

<http://www.yabashi.co.jp/house/>

2009 Vol.10 spring



3 ■ 特集

心が落ち着く
温もりのあるあかり

岐阜県 養老郡 養老町 Y様邸

7 ■ 矢橋グループの街づくり

GREEN COURT 荒尾Ⅲ うるおひの丘

第二期一般分譲開始

11 ■ お庭で野菜を育ててみよう

アグリカルチャー

13 ■ 矢橋工房―漆と付き合う

古美術長善と矢橋

■ 連載

中山道赤坂つれづれの記 文/故清水 春二
赤坂お茶屋屋敷(十)



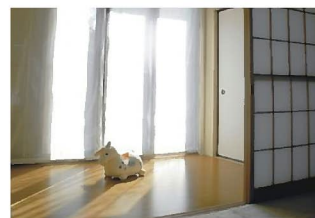
「招シリーズ」モデルハウス リビング室 (GREEN COURT 荒尾Ⅲ うるおひの丘内)

■特集

心が落ち着く 温もりのあるあかり

岐阜県養老郡養老町 Y様邸





営業担当
木材事業本部 住宅部
太田 信之

「縁シリーズ」の雰囲気を感じて頂き、その雰囲気を随所に取り入れた自由設計のY様邸。
蓄熱暖房の採用や外壁のタイル張など、ご家族の健康や建物のメンテナンスにも配慮しました。
これから長くお付き合いが出来る事を願っております。



落ち着いた雰囲気が入っています。

リビングの戸を開けると、障子を通してやわらかな光が入ってきます。窓からそして、天井からも。障子は古来より日本の建築文化の象徴的な存在でした。現在はカーテンの普及により随分減りましたが、最近インテリアや、断熱、紫外線の軽減効果等が改めて注目され、障子が見直されつつあります。

なぜリビングに障子を？

カーテンよりも外からの視線を気にすることなく、光を取り入れることができますし、何よりもこの落ち着いた雰囲気が気に入ったので。子どもたちが穴を開けないか、ちよつと心配ですけどね。(笑)とお話されたY様は、弊社の「縁シリーズ」(昔ながらの日本の家族の為に「民家」その中に住まいの原点を見つけた家」を気に入って頂きました。

障子の向こうには、リビングからつながるウッドデッキ。

ここは、お子様もお気に入りなのでしょう。

本当によく遊んでいますよ。お天気のいい日は、みんなでお弁当を食べたりもするんですよ。

お家で過ごす時間が増えました。

休日は、どのように過ごしていますか？

以前はショッピングセンターに行くことも多かったのですが、引越してからは家で過ごすことが多くなりました。みんなお家が好きみたいで、姉や友人、いろんな方が我が家によく集まるようになりました。

にぎやかでいいですね。

にぎやかですよ。将来のことも考えて二間続きの和室をつくりましたが、今は子どもたちの遊び場です。アパートに住んでいた頃のようにご近所を気にしなくてもいいので気が楽ですが、ついつい今までの癖で、「静かに！」なんて叱ってしまうことも時々あります。(笑)

ジェットボートのライセンスを持つというアクティブなご夫婦。お子様が大きくなったら一緒に楽しめるのでしょうか。

近頃、自然のものに触れる機会が少なくなりましたが、幼いころに感じた木の温もり、心が落ち着くやわらかなあかりの温もりは、きっと大きくなっても忘れずにいるのではないかと思います。

GREEN COURT (グリーンコート)

今日食べたおかずにも、今読んでいる本にも、わたしの家にも…。暮らしのさまざまなところで使われている石灰石。矢橋グループでは、石灰石の採掘も行っています。採掘後は、その土地に美しい風景を復元し、子どもたちに残したいと思っています。美しい風景を復元するために創造することは、美しい街をつくるのと同じです。そんな想いで鉱山の緑化や街づくりに取り組んでいるのが「グリーンコート事業部」です。美しい風景をつくるのが「グリーンコート」の原点です。

うるおひの丘 (うるおいのおか)

自然の恵みへの感謝を込めて名づけられた「うるおひの丘」ゆたかに流れる水のように、ゆったりとこころよく、自然と共に暮らす街です。

人間のからだの約70%はお水。
「お水の結晶は、環境や感情により変化するってほんと？」
こころもからだも豊かな暮らしを。

自然の恵みを
うける

のんびりすると
ころが
うるおう

手作り野菜で
食事が
うるおう

この辺りは
宇宙生(うるう)
地区

何で
この名前になったの？

散歩道、道草、ねこの昼寝。
公園、ふしぎな石、かくれんぼ。
ほくろの野菜、おはあちゃんのおすもも。
夏の暑さ、冬の風、見上げた空の
美しさも星のきらめきも。
ぜんぜんぜんが毎日のたからもの。
ゆったりと ゆたかに流れる時間を
楽しむ暮らしが
ここ「うるおひの丘」で始まります。

GREEN COURT 荒尾Ⅲ
うるおひの丘

第二期 一般分譲開始!

GREEN COURT
荒尾Ⅲ
うるおひの丘



一期分譲の街並ができました。



お問い合わせ: 0120-884-039 (住宅部) <http://www.yabashi.co.jp/house/>

矢橋グループの街づくり 7

郵便はがき

503-8790

4 5 3

料金受取人払郵便

大垣局承認

70

差出有効期間
平成21年9月
30日まで
(切手不要)

岐阜県不破郡垂井町表佐 410-1

矢橋林業株式会社

住宅部 行

お客様ご紹介ハガキ

お知り合いの方でお住まいを
お探しの方は見えませんか?

ご紹介して頂きました方には、
1,000円分のクオカードをプレゼントします。
尚、先様のご契約に至った場合は別途謝礼を
ご用意しております。

ありがとうございました。
季刊誌 Vol.10

うるおひの丘を 散歩してみませんか？

おすすめコース

のんびりと歩いてみて下さい。

① あおぞら公園

② ふるさと公園

③ 散歩道

④ うるおひ公園

⑤ 並木道

⑥ 大くすの木

⑦ 並木道



② ふるさと公園



⑥ 大くすのき

ふるさと公園

モニュメント
「この地に生まれ
この地に還る」

遺跡をイメージした芝生の
丘のモニュメント。そして、
古代の人々が食べていたと
いうドングリのなる木。子
どもたちが遊びながら、こ
の土地の歴史を感じ、学べ
る公園です。



⑦ 並木道



第一期分譲 第二期分譲 建売区画

小学校まで徒歩5分！ 駅まで徒歩6分！



宇留生幼稚園・小学校 むつみ保育園

大垣セントラルクリニック
(内科・循環器科・小児科他)

トミダヤ

名古屋へ
約40分

名古屋市内
も通勤圏内

LIFE INFORMATION

【交通機関】
■JR美濃赤坂線 荒尾駅……約500m
■近鉄バス 御首神社前……約200m

【教育施設】
■西部中学校……約1600m
■宇留生幼稚園・小学校……約400m
■むつみ保育園……約800m

【金融機関】
■大垣共立銀行 荒尾出張所……約300m
■大垣信用金庫 荒尾支店……約200m
■十六銀行 赤坂支店……約1800m

【公共機関】
■大垣荒尾郵便局……約300m

【ショッピング】
■トミダヤ荒尾店……約400m
■平和堂ノースウエスト店……約500m
■パロー赤坂店……約1400m
■ココストア……約400m

【医療機関】
■北橋クリニック……約400m
■金沢病院……約1000m
■大垣セントラルクリニック……約600m



カーナビでお越しのお客様は「岐阜県大垣市荒尾町1525」とご入力下さい。

※現地周辺までの案内になります。路線によって表示されない場合がございます。

お問い合わせ：0120-884-039 (住宅部)

<http://www.yabashi.co.jp/house/>

うるおひ公園

小高い丘と、そこから広がる
広場は、子どもたちが安全に
素足で遊べる芝生の空間。楽
しそうに遊ぶ子どもたちの姿
を、ベンチに腰をかけて見守
る。そんなひと時をすごせる
場所です。花の咲く木や実の
なる木がたくさんあるので、
花を見て四季を知り、実りを
味わって四季を感じることが
でき、子どもたちが、自然の
姿を発見できる公園です。ま
た、災害時の避難場所として
使える機能も備えています。



Natural Life

—— 緑の中で自然に暮らす ——

バラ科 ジュンベリー

ブルーベリーの仲間。



4～5月
白い清楚な
花が咲きます。

6月～7月
赤い実が黒く
熟したら食べ
こえます。



家庭菜園

手をかけて育てた野菜は
本当においしい。また、
自分で作るから安心です。
家庭菜園は、実際に植物
や土に触れ自然を学ぶこ
とができる食育の場であ
り、家族や近所の方との
会話ははるばるコミュニ
ティーの場でもあります。
自然からのおすすめわけ。
お隣さんにおすそわけ。

■ あなたは現在、矢橋グループの住宅にお住まいですか？

☐ はい (ご入居時期 年 月頃/担当:)
☐ いいえ

ふりがな お名前	〒
ご住所	
お電話	
E-mail アドレス	

■ ご紹介頂けるお客様について以下の項目をご記入下さい。

ふりがな お名前	〒
ご住所	
お電話	
お探しの住宅	
☐ 注文住宅 ☐ 分譲住宅	
☐ その他 ()	

お客様が本書面に記載された個人情報、当社の営業活動のために使用することがありますが、
法律で定める場合の他、お客様の承諾なしに他の目的には使用致しません。

準刊誌 Vol.10

(キリトリ線)

(キリトリ線)
のりしろB



GREEN COURT
荒尾Ⅲ
うるおひの丘

うるおひ公園夕景

のりしろC

のりしろC

お庭で野菜を育ててみよう



オクラ

ネバネバ成分が体にいいヘルシー野菜。アフリカ原産のオクラは南国を思わせるきれいな花を咲かせます。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
植えつけ					●	●	●	●	●	●	●	●
栽培					●	●	●	●	●	●	●	●
収穫							●	●	●	●	●	●

作業時期の目安

1 苗を植える

苗の根鉢より大きい穴を掘り、根を傷めないように苗を植え、水をたっぷりとあげます。

2 花が咲く

株の下の方から美しい花が咲きます。



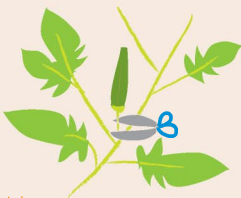
3 サヤができる

花がしぼむとサヤができます。

4 収穫する

サヤが5〜6cmになったら、ハサミで切って収穫します。

大きくなりすぎるとかたくなってしまいます。



ラディッシュ



「二十日だいこん」の名で知られるラディッシュ。栽培期間も短く育て方も簡単です。初心者の方も気軽に楽しめます。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
種まき			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
栽培			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
収穫						●	●	●	●	●	●	●

作業時期の目安

1 種をすじまきにする

すじをつくり種をすじまきにします。種が隠れる程度に薄く土をかぶせ、水をたっぷりとあげます。

間引きした葉も食べられますよ。

2 小さな苗の間引き

葉が2〜3枚になったら、小さな苗の間引き、葉と葉が触れ合わないようにします。



3 土寄せをする

間引いた後、葉が倒れないように土寄せをします。

4 収穫する

根の直径が2cm程度になり、土から顔をのぞかせたら、葉のつけ根をつまんで収穫します。



AGRICULTURE

アグリカルチャー



オーガニック

矢橋グループでは数年前からGreen Court事業の一環として農業に注目してきました。

我々は、多くの人がスーパーマーケットに並ぶきれいに形の揃った野菜に疑問を持ち、本当は土の香りのする野菜が必要なのではないか、と思い始めているのではないだろうかと考えていました。また、有り余っていく作られた食物と、失われていく自然の恵みに食の危機感を持っている人が多くいるのではないかと考えておりました。

我々の農業への取り組みの第一歩として故郷の味である赤坂イチジクの復活を試みる事にしました。少なくなった赤坂のイチジクの木が幸いにして矢橋宅に残っており、その木を母樹として、80本のイチジクの木を赤坂町周辺の各所に植えました。昨年はおよそ900個のイチジクを収穫しました。しかし、まだ昔の皮が薄く、さわやかで深い甘みのある赤坂イチジクの味には及びませんでした。今年こそはあの赤坂イチジクの味を復活させるべく研究を進めていきたいと考えております。しかし、その方法は決して生産性を求めるのでも、人工的で不自然な甘さではなく、あくまでも自然で天然の味を目指していくつもりです。

本拠地である赤坂だけではなく、当社の事業所のある滋賀県の余呉町でも一般に流通していない自然の野花の美しさである茶花の栽培を試みると共に、山菜や広葉樹の原生林が育む山の蜂蜜などの山の幸、近江米などの地産名産に取組み、人工的ではない自然な生育をさせる事で本当の味のする作物を大量ではなく自然な供給ができるような取り組みをしていきたいと考えております。

現在はアメリカの金融業界の破綻に端を発した100年に一度の大不況の中で世界中が苦悶している真只中にある世界。日本も重要な産業である自動車業界をはじめとして、半導体、家電、機械、建機など輸出産業が大きく影響をうけて未曾有の減産を余儀なくされ企業収益悪化の一途をたどっております。

また、中堅のマンション、住宅会社の倒産が相次ぎ、発注しておられた完成保証のないお施主様は契約金をはじめ建築途中の住宅など被害に遭われ大きな社会問題となりました。

このような時代にこそ我々のような地域の建築会社は地域に根を張った堅実経営でお施主様の信用にお応えする事だと思っております。全国ネットワークを指すパワフルダーや中堅のハウスメーカーのように自らの力量を超えるような業務拡大志向ではなく、数を追う事無く我々の心と技術をこめた住宅を地域のお客様にお届けしていくという顧客志向を徹底していかねばならないと考えております。

世界が数学的な経済理論だけで動いていたことの結果が出た今日においては、本来の原則として社会に役立つという事業の自然なあり方に立ち返らなければならないと考えております。地域のお客様に住環境のご提供を通じて心豊かな暮らしをして頂けるよう矢橋グループは精進をしております。

矢橋林業株式会社
代表取締役社長 矢橋龍宜



「古美術長善」は、美術骨董品、鑑賞陶磁器、茶道具などを取り扱っているお店です。

店主の長岡さんと矢橋家は交流が深く、先代、先々代、それ以前からご縁がありました。

平成4年から平成17年まで、弊社と共同で名古屋市内に「長善矢橋工房」をオープンさせ、その後、現在の場所に移転してからは店名を「古美術長善」としてリニューアル。

弊社施工の店舗には、矢橋工房の家具や、店主が長年使い育てた漆器が、店内に心安らぐ雰囲気を醸しだしています。

名古屋へお越しの際には、ぜひお立ち寄り下さい。



なかぜん
古美術 長善

〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目2-3

日興證券ビル地下街

TEL 052-242-0838

営業時間 10:30~18:00 日曜日・祝祭日 休廊



「時代根来風香盆」

長く使用して頂いているため、時代がついた漆器。

初代長岡善蔵氏は十万石の戸田藩大垣城主・戸田公に出入りの刀剣商人で、明治になり帯刀が禁止されたことで道具商へと転じ、地元を中心に中道具を商う。3代目長岡善蔵氏が営業範囲を各地へと広め、取り扱う商品も美術骨董品・鑑賞陶磁器・茶道具と幅広く扱う。

各都美術倶楽部関係も戦前から東京・名古屋・京都・大阪・金沢の五都美術商協同組合のすべてに属し、「長善」の名前を各地業界に広め、現在5代目長岡涼一郎氏が名古屋店を主に店舗営業している。



■矢橋工房―漆と付き合う 古美術長善と矢橋

漆

矢橋工房

<http://www.yabashico.jp/craft/>

うみゆり連載集

中山道赤坂つれづれの記

赤坂お茶屋屋敷（十）

故清水 春一

お茶屋屋敷の現地測量図と、江戸時代の古記録に描かれた絵図をみて考えられることは、この屋敷の総構えが完全な城郭の形態をなしているにも拘らず、四隅に設けられた笥の隅櫓跡のうち、東南隅が慶長十四年（一六〇九）の検地後に欠損して、部分的に原型を変じたものではないかと判断されます。

同時にまた東北隅の部分が、隅櫓の形状をなしておらず、東正面大手門前辺りから北へ向けての二帯が、馬場になっています。その外側が南へ向かって斜めに欠けた段落の地形で道路が南北に走っており、その東にさらに勾配があつて低地となり、民家や田畑となつていたので、この屋敷の後部に当たる西南および西北隅の櫓跡（現赤坂中学校地内）の地形とは対照的な違いがあります。

このことから、やはりこのお茶屋屋敷は、元来からの地形を利用して設計され、そして造営されたものであらうと考えられます。

『大垣藩地方雑記』によると、「生垣結手間代金二分 毎春勘定値段を以て代米下さる。御番人二人、宿人別の者、住家御家敷の内にて無年貢、且宿役勤

めず右御番人忠助、平八と申す者は徳永様内安部孫兵衛下役藤田又兵衛とて、御代官にて御茶屋屋敷御番並びに往還等支配あり。其由緒の両人の子孫の者御百姓にて相勤む」と記録されております。

お茶屋屋敷には、その機能廃止後もずっと番人を置いて維持管理され、明治維新の改革まで公用地として残されていたわけです。

その間の維持管理の方法としては、寛永の初めごろ旅館が廃止されて以後、番人によつて本丸（内部）だけは開墾され田畑となつたので、同十三年（一六三六）には有租地となつて、年貢二両二分が賦課されました。次いで延宝四年（一六七六）には二両二歩となり、さらに元禄二年（一六八九）には、上納米九俵と改められました。また『赤坂宿方記録付図』によると、大手門外畑を加えて、年貢米三石六斗となり、のち五斗減税されています。この年貢米（米納税）は俵四斗単位で計算されていることがわかります。

ところが同十五年には願出（陳情）によつて金二両ずつ上納したとあり、この付図が恰度そのころのものであらうと

推測されます。また管理人がこの屋敷内に住んで、代々世襲制で親の後継ぎをして、その任務を果たしてきていることがわかります。その管理人が、この屋敷内の一部を開墾し畑として耕作していた分について、賦課された税を上納していたこともわかります。

中山道の交通は頻繁を極め、時折大名行列や大交通のあつた場合、いわゆる「御通衆」があるときは、人馬圀場に利用され、そのときは減租となつていました。つまり赤坂宿をあげて、宿泊に利用されるような大名行列等の大人数の場合、それに伴つて乗馬、駄馬（荷物運ぶ荷馬など）の宿泊野営場所（今日でいう駐車場に当たるところ）となつたのです。お茶屋屋敷の広大な内部は、耕作している畑も荒らされ、収穫も減少するなどのため、その分として前記大通行に際して使用された場合の年貢（税）は、減免の措置がなされていたわけです。

しかし、それでも寛延三年（一七五〇）三月には御年貢困難の理由で、

願出によつて、その前年分から免除になつて以後、詳しい文献がないので確認できませんが、どうやら明治維新を迎えるまでの幕末期は、除地として免税となつていたのではないかと推測されます。

以上、赤坂お茶屋屋敷の機能廃絶後の、江戸時代末期までの管理状況の大概を推察しました。明治維新後、版籍奉還、廃藩置県が実施され、政治制度の大改革に伴つて、お茶屋屋敷も民間払下げとなりました。当時の赤坂宿名主役であつた矢橋宗太郎氏が買い上げ、以後今日まで矢橋家の所有となり、保存されてきたわけです。



赤坂お茶屋屋敷 延宝 5 年 6 月の古絵図



矢橋林業株式会社

